

なき戦を戦はんとために。

微かに敵の舵手の聲が前方で聞へる。追漕又追漕死んでもゴールに入る迄には抜き返さればならなかつたに。「又しても敗れた。」女々しいと思ひながら滲み出る涙はどうすることも出来ぬ。嗚咽の聲が艇内に洩れる。「五高は若い」の屈辱的批評も尙甘受せればならぬか、噫!!! (平岩筆)

野 球 部

△昨年度に於ける

試合の二三。

熊本高専リীগ戦 對高工戦

五月十八日五高高工藥專三校選手武夫原に集ひ、ダイヤモンド一周前年の優勝校五高側より優勝盃返還濹洲校長の挨拶あり終つて戦の幕は切つて落された。

五高は(一回)島田の安打ありしのみ。(二回)凡退(三回)中野の安打下川の本壘打に二點(四、五、六回)無爲(七回)磯部下川の安打島田の三壘打栗田のバントに三點計五點を得しに反し高工は(一回)一點

(二回)三點(三、七回)に各々一點計六點を得て一點リードされたま、第九回に入り下川死球島田安打に續き栗田と江藤のバントに同點と思はれしに江藤のバントを敵投手がノーバウンド捕りたるか又はワンバウンドなるかに就き審判決定を下す能はず此處に紛争を生じ其後の交渉もまとまらず一時中止の形となつた。

西部豫選出場記

炎熱の武夫原に約二ヶ月血と涙を流した猛練習に依り大いなる自信を得た我々は覇氣満面一路福岡に乗込んだ。七月十六日先づ山口高商を向ふにまわす。

五高。一回島田遊越安打に出たが佐々木の投筒に封殺されど栗田二壘江藤の右前安打に先づ一點。(二、三回)無爲(四回)磯部の安打のみ(五回)栗田遊筒失に出て捕逸及び暴投に又一點(六回)下川中野四球中原山内島田の集中安打に更に二點を増し(七回)佐々木の安打のみ(九回)栗田の安打のみ計四點を得たるに反し山商は一回八回に各一點を得たるのみにて、我軍先づ山陽のダークホ

一(六)一

イスを槍玉にあぐ。

對福高戦

五高(二回)磯部四球下川二壘打中原四球にチャンスあつたが惜しくも逸し(三回)島田栗田の安打あつたが後者凡退。(四回)チャンスあつたが入らず(五回)島田の安打のみ(六、七八回)無爲(九回)敵失と四球に一點を得しに反し福高は(二、三回)に各一點を得結局二對一にて我軍恨を呑む、蓋し福高を弱敵と見て輕んじた結果此の苦杯をなめしなり。

△本年度野球部の近狀

本年度の我野球部は主將江藤投手を一人送るのみで甚だ有望と思はれたが好漢磯部病に倒れ幸ひに多數の名選手を得しに拘らず家事上の都合其他で入部しぬざる者多く結局現在では新選手は津田(文一乙)池田(理一甲二)二宮(理二甲二)島田(文一甲二)鷲尾(文一甲二)大津(理一甲二)である。本年に入り又遊撃山内病床に伏し一抹の不安を感じさせたが舊選手の多數に加ふるに如上

の諸名選手を以つてし愈々充實味を増した
吾野球部は先づ小手調べとして

對濟々疊 十二對〇勝

對工業 十一對二勝

對熊本OB 七對二勝

を屠り恆例の招魂祭ゲームに出場。先づ熊
鐵軍と組み津田の好投、池田の好守中野二
宮等の好打等、新選手の活躍物凄く多年來
の仇敵熊鐵軍を五對三にて破る。翌日工業
クラブと決勝戦を行つたが前日の疲勞と弱
敵と見て取つた油斷より九對三にて敵に勝
を讓る。グラウンドの修理意外に長引き爲に
練習充分ならず思ふ存分技倆を發揮し得な
かつたのは遺憾であつたが今や全く修理成
り猛練習の曉には來るべき佐高大分高商戦
及び七月の高専大會に於ける吾野球部の活
躍は將に括目して待つべきものがあらう。
因にメンバーは左の如し。

木 (弟)
田田原田々宮内田川田野津尾ヤ木
津島栗中島佐二山池下島中大鷲チ
P. C. I. B. H. B. H. B. S. S. O. F.
マ 坂

部 報

庭 球 部

雪と霜との爲にすつかりコートが破壊さ
れた僕等は其でも三月の進級試験が済むと
直に一週間の猛練習に取かゝつた。始めコ
ートのコンディションは悪かつたんだけど
二三日たつたら大抵は使へる様になつてあ
た。去年の七月の惨敗に具へる爲に期間は
短かつたんだが來るべき新學期の豫備練
習としては逆も有効だつた。一週間の練習
期間を経て部員一同皆進級の喜びを胸に抱
いて僕等は櫻漸く咲かんとする熊本の地を
五高のコートに暫くのお別れを告げた。
新學期に入つて新入生より三名の部員を得
て亦練習を開始した。

第一回戦(シンガルス)

鈴木(山高) 6—4 松下(五高)

山高の鈴木に松下は昨年の高専大會に於て
無慘にも敗れたのである。松下は復讐戦の

意を以て大いに頑張つたがポイントに弱く
遂に復讐成らなかつた。

中山(九大) 6—0 松尾(五高)

松尾近來漸く當り出して好調を持してゐた
がしかし老巧なる敵の術中に陥りてセット
オールでしかも第三セット4—0とリード
してゐながら敗れたのは返す返すも惜しか
つた君の自重を望むものである。

宮川(西南) 1—6 三谷(五高)

三谷の獨り舞臺でスクリーンは閉ぢられた
かくしてシンガルス第一回戦の勝者として
三谷獨り殘つた。

中山(九大) 3—6 三谷(五高)
福島(九大) 2—6 松下(五高)

奇しくも亦シンガルスの松尾の勝者中山組
と合つて僚友の報復は成つた。

第二回戦(シンガルス)

吉田(福俱) 2—6 三谷(五高)

三谷力戦は努めしも少々あがり氣味で片附
けられてしまつた。